

(3) 吸入の終了

- 1 SPフローの調整ハンドルを「閉」に合わせてください。

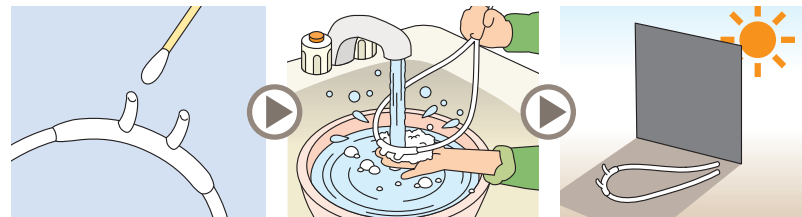


- 2 酸素出口ノズルに接続されたカニューラを外します。カニューラは清潔にし、保管をしてください。



カニューラのお手入れ

鼻に直接装着する部分は特に汚れがたまりやすい為、こまめに洗いましょう。



© 2015 Philips Respironics GK PN 1122545 150601 R1-W

携帯用酸素ボンベ／呼吸同調器／流量調整器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡下さい。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけ医療機関名・取扱業者名などを必ずお伝え下さい。

■ かかりつけ医療機関名

■ 酸素のご注文先

製造販売業者
株式会社医器研

販売業者
フィリップス・レスピロニクス合同会社
〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル
マーケティング部 03-3740-3245
www.philips.co.jp/respironics/

■ 機器のトラブルは... 24時間対応、安心の技術サポート
平日9:00~17:30 地域営業所・出張所・駐在

夜間・土日受付 営業所・出張所・駐在の対応日・対応時間外 受付

機器安全センター ☎ 0120-633-811

携帯用酸素ボンベ／流量調整器(SPフロー) 呼吸同調器(SPセーブ)の使い方

※本書は取扱説明書にかわるものではありません。必ず正式な取扱説明書をご覧ください。

SPフロー 医療機器届出番号：11B1X00004000001 SPセーブ 医療機器承認番号：22600BZX00385000

酸素はおくすり！医師の処方量を必ず守りましょう。

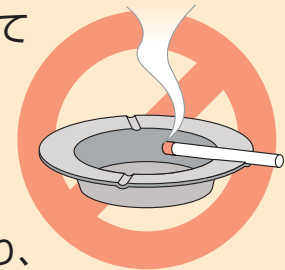
酸素をきちんと吸うことで心臓の他、あなたの臓器が、守られます。酸素はおくすりと同じで、体に必要な量をおぎなう為に処方されています。しかし「息切れ」は必ずしも酸素不足だけが原因で起こるものではありません。「息切れ」が強いからといって勝手に酸素流量を変えてはいけません。

⚠ 火気からは2m以上離れてご使用下さい。

酸素自体が爆発したり、燃えたりはしませんが、燃えているものをさらに燃えやすくする性質があります。

とくに、**たばこは厳禁！**

酸素吸入しながらたばこを吸うことは、健康面からも絶対にやめましょう。カニューラに引火することもあり、大変危険です。



各部の名称

酸素出口ノズル

チューブ接続口

保護カバー

流量調整ダイヤル

SPセーブ

圧力計

SPフロー

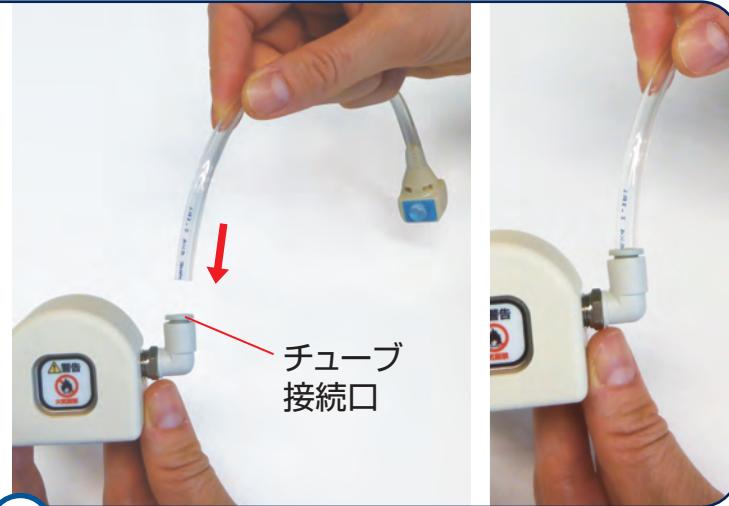
接続チューブ



(1) 吸入の準備

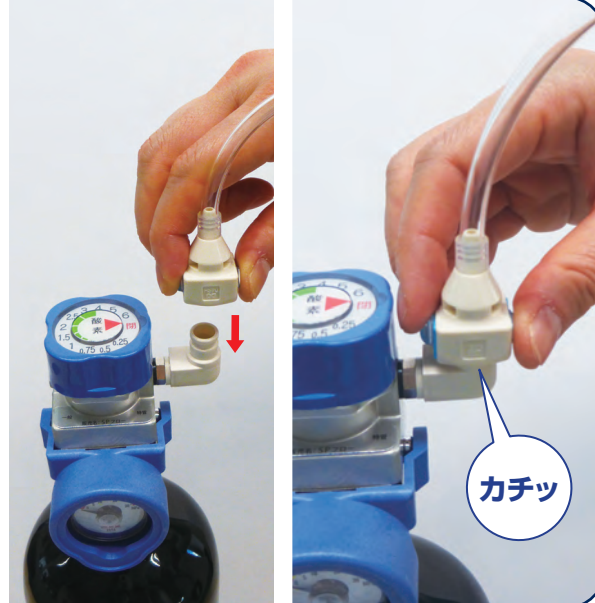
- 1 SPセーブのチューブ接続口に付属品の接続チューブを差し込みます。

確認 接続チューブを軽くひっぱり抜けを確認してください。



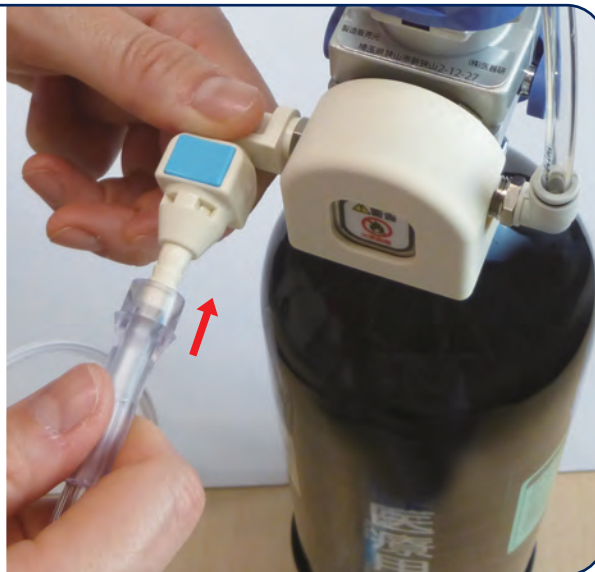
- 2 充填済みの酸素ボンベに取り付けられたSPフローの酸素出口ノズルに**接続チューブ**を接続します。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

確認 接続チューブを軽くひっぱり外れないことを確認してください。
接続チューブは傷や破れ、折れ曲がりがないことを確認してください。



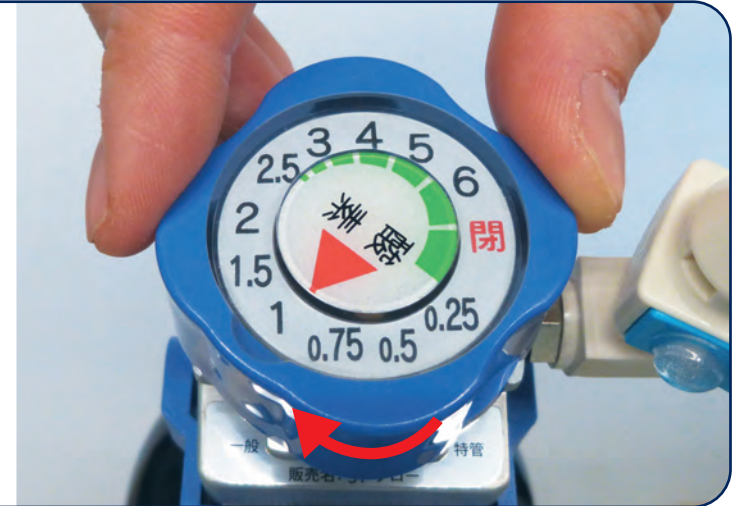
- 3 カニューラを酸素出口ノズルに差し込みます。

確認 カニューラを軽くひっぱり抜けを確認してください。



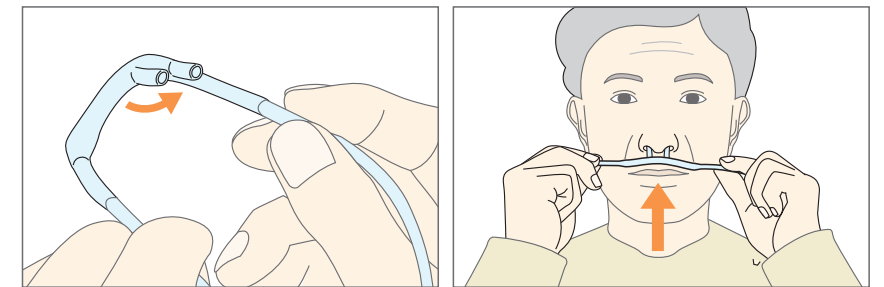
(2) 吸入の開始

- 1 SPフローの調整ハンドルをゆっくりと回し、主治医の処方に従った流量に設定してください。
カニューラを装着し、酸素吸入を開始してください。

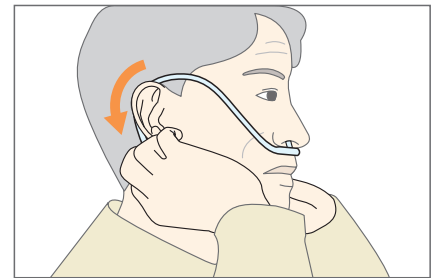


● カニューラの使い方

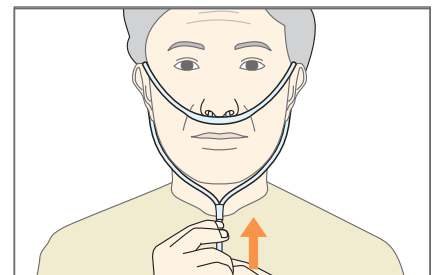
- 1 カニューラの方を確認し、鼻孔に装着します。



- 2 左右の耳にカニューラをかけます。



- 3 ストッパーを上げます。



⚠ 使用前に必ずチューブの点検を行ってください。